

誰もが共に生き生きと学べるようにしたい！



だけど、実際は...

子供

学びの場
共に学ぶ相手によって
学び方が違ったら

教師

多様な子供が
共に学ぶ授業で

どのように
学べばよいの？

どのように
授業を進めれば
よいの？

どのように
支援すれば
よいの？



特別支援研究係
調査研究
詳細はwebで

フェスタ
発表概要

目指すのは、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校を問わず、
どの学びの場、どの教科、誰でも実践できる授業づくり

共通の目的で
つながれたら...

自らの学びを
進められる
環境があったら...

仮説

誰もが共に生き生きと学べるのかもしれない!!



手立て①

共通の目的でつながり、
目的意識をもち続けながら
学ぶことができる単元構成

単元構成ツール「ヤルキミチコ」

を使い、子供の「やりたい」「知りたい」を引き出す単元を構成を考えます。



ヤルキミチコ

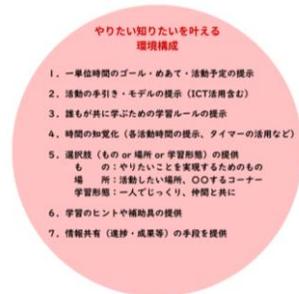
カスタマイズしたAIアシスタントを活用し、
アイデアを得ることもできます。

手立て②

自分に合った学び方で自ら学びを
進めることができる環境構成

環境構成ツール「トトノエタロー」

を使い、自らの学びを進めること
ができる環境構成を考えます。



トトノエタロー

誰もが共に生き生きと学ぶことができる学校



小学校の実践発表をします！

特別支援学校（知的障害）の実践発表をします♪

授業づくり体験コーナーで待っています!!

